

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年七月度 入選句 (投稿総数二千七百九十八句・小中学投句数二千七十四句)

特選

選者 相馬 みさ子

雨上がりがりくもの巢に見る万華鏡 大垣市 西内 達也(小五)

雨上がり、くもの巢に水滴がつくと、とってもきれいですね。そこに日がさすと万華鏡のように輝いて、いろいろな色がかかるのでしょうか。万華鏡という表現にその美しさが言い尽くされていると思います。

「くもの巢」は夏の季語ですね。身の周りのものに目をとめ、よく見ると、この作品のように新しい発見ができて楽しいです。感動を上手にまとめた一句です。

田おこしがねていたみみずおこしたよ 大垣市 岩井 好誠(小三)

田植えの前に耕運機で田の土をおこしますね。この作品は、田おこしをしたら、ねていたみみずがびっくりして起きてしまったというのです。とてもユーモラスな作品ですね。

田おこしの風景からこんなところに目をつけて一句をよむという作者の観察力と豊かな想像力を感じました。「みみず」は、夏の季語ですね。

あめんぼううすいえいせんしゆみたいだな 大垣市 清水 敦生(小二)

あめんぼうの水上を走るように泳ぐ姿から、作者は、まるですいえい選手のようにだと感じたのですね。

あめんぼうのようにこんなにすいすいと泳げたらいいなあと思つてながめたのでしょうか。季語は、「あめんぼう」で夏ですね。一年生らしい、とてもかわいらしい作品です。

秀逸

葉桜のとんねるくぐるたらい舟 大垣市 豊田 礼麻(小六)

あじさいを数えて学校かよう道 大垣市 平田 ひなの(小五)

あじさいは二色のパッチワークだよ 大垣市 横田 七香(小四)

つゆのじきかさは毎日とうこう日 大垣市 中村 歩夢(小三)

空まめはふわふわベットでそだつのね 大垣市 大橋 結愛(小三)

おおはなびどかんと一ぱつゆめあがる 大垣市 かつしまやまと(小二)

滝流れ水のカーテンできあがり 大垣市 野村 葵生(小六)

夏の雨木につくしづくイヤリング 大垣市 富永 華(小六)

あめあがりわたってみたいなじのはし 大垣市 室 琉希也(小二)

はつけよいまけるなぼくのかぶとむし 大垣市 松岡 佑哉(小二)

入選

さくらんぼいつもらぶらぶなかよしね 大垣市 まつい ゆうか(小二)
 夏の川枝と枝とが手をつなぐ 大垣市 若杉 茉桜(小六)
 父の日に小物と手紙をプレゼント 大垣市 高橋 彩夕奈(小五)
 甲子園きらりと光るあせなみだ 大垣市 酒本 晃輔(小五)
 声たよりねらいをさだめすいかわり 大垣市 炭竈 凜奈(小四)
 あじさいがいろんないろにおめかしだ 大垣市 川瀬 未祐(小四)
 夏まつり夜空一面花がさく 大垣市 星野 凌空(小三)
 えんがわでシャリシャリ食べるかきごおり 大垣市 森 麻亜子(小三)
 みずあそびズボンもふくもびしょぬれだ 大垣市 あべ えみゆ(小二)
 やつときた麦わらぼうしのでばんだよ 大垣市 樋口 心音(小六)

入選

ばしょう像見上げる先は夏の雲 大垣市 高橋 奈々(小六)
 ゆうだちにいるとりどりのかさのはな 美濃加茂市 三崎 海斗(中三)
 思い出は君と見上げた天の川 美濃加茂市 大島 豪太(中二)
 かき氷迷ったシロツブレインボー 美濃加茂市 前川 怜香(中二)
 てのひらにしわができたよプールのひ 大垣市 大中 心裕(小二)
 にじのはしゆめのくにまでいけるかな 大垣市 大塚 彩友美(小二)
 てのなかでそつとひかるよほたるさん 大垣市 杉原 莉歩(小二)
 かえるたちあじさいの葉でかくれんぼ 大垣市 名畑 さき(小三)
 あじさいがキラツとひかるあめあがり 大垣市 さたけ いつき(小四)
 かたつむり雨の日ゆっくりにおさんぽだ 大垣市 増田 煌也(小四)

選者吟

大虹や捕へられたる町ひとつ
 みさ子